

平成29年度 ごみ量及び資源回収量について

1 中央区収集ごみ量

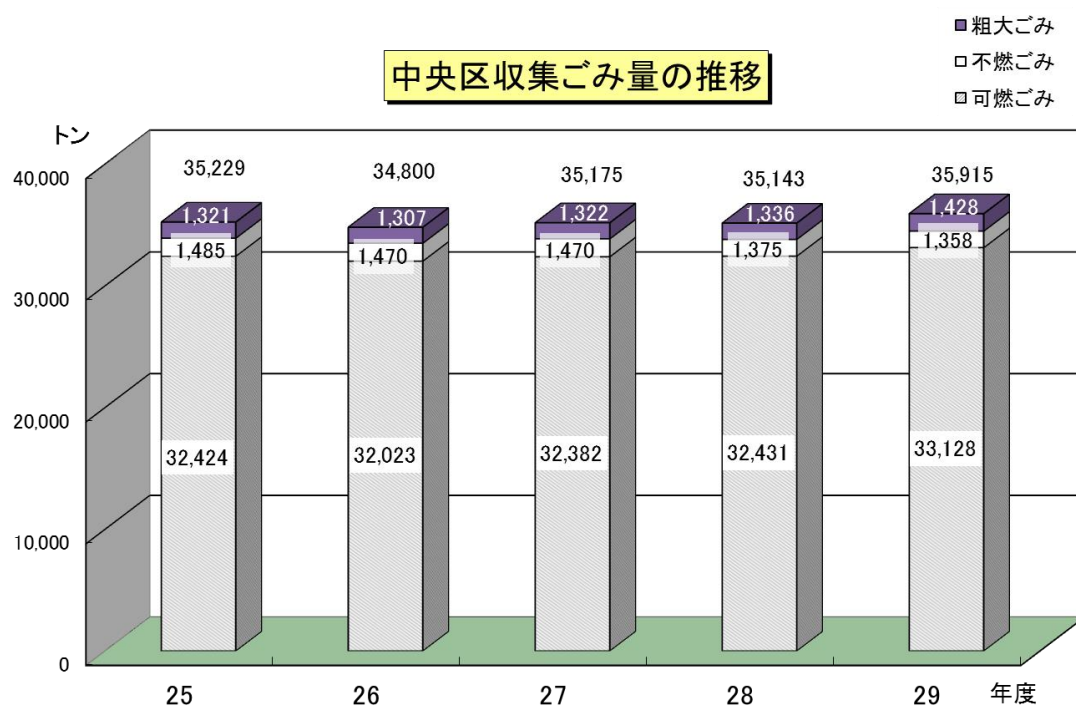
平成29年度における中央区の区収集ごみ量は、35,915.28トンであった。これは平成28年度と比較して、量で約773トン、率にして2.2%の増加である。

内訳を見ると、可燃ごみは量で約697トン、率にして2.1%増加した。不燃ごみは量で約17トン、率にして1.2%減少した。粗大ごみは約92トン、率にして6.9%増加した。

種 別	収 集 量 (t)		前 年 度 比	
	平成29年度	平成28年度	(t)	(%)
可 燃	33,128.35	32,431.42	696.93	2.1
不 燃	1,358.48	1,375.33	△16.85	△1.2
粗 大	1,428.45	1,336.00	92.45	6.9
計	35,915.28	35,142.75	772.53	2.2

(参考)

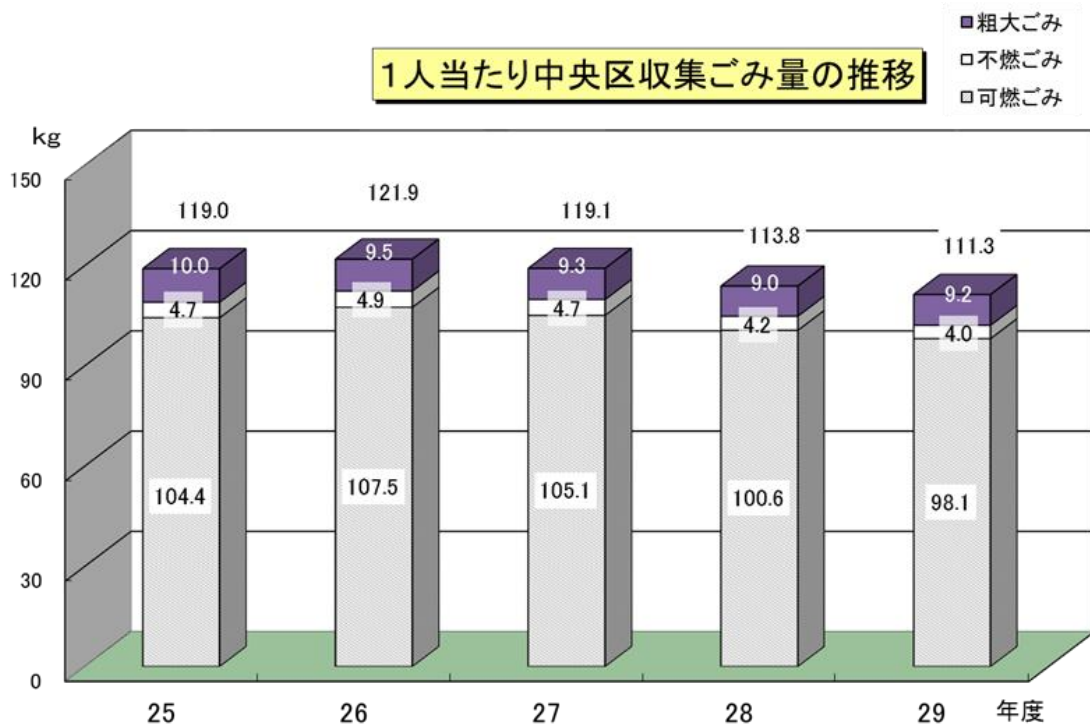
持 込	75,416.64	73,724.88	1691.76	2.3
総 計	111,331.92	108,867.63	2,464.29	2.3



注：表とグラフの数値について、端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合がある。

なお、下記表は、中央区収集量（前記表）を1人当たり収集量へ換算したもののだが、平成28年度と比較して、粗大を除き減少した。

種 別	1人当たり収集量 (kg)		前年度比	
	平成29年度	平成28年度	(kg)	(%)
可 燃	98.13	100.61	△2.48	△2.5
不 燃	3.98	4.22	△0.24	△5.7
粗 大	9.20	9.01	0.19	2.1
合 計	111.31	113.84	△2.53	△2.2



注：表とグラフの数値について、端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合がある。

1人当たり収集量とは、区収集のうち家庭系に按分されたごみ量を用いて計算している。区収集の家庭系と事業系分のごみ量の按分については、平成24、25年度は「平成21年度中央区排出実態調査」から、平成26年度～29年度は「平成26年度中央区排出実態調査」から算出した次の比率である。

平成21年度中央区排出実態調査

・燃やすごみ	家庭系 42.4%	事業系 57.6%
・燃やさないごみ	家庭系 41.3%	事業系 58.7%

平成26年度中央区排出実態調査

・燃やすごみ	家庭系 46.0%	事業系 54.0%
・燃やさないごみ	家庭系 45.5%	事業系 54.5%

なお、上記収集量の計算において人口は、各年10月1日現在の数字を用いている。

2 中央区資源回収量

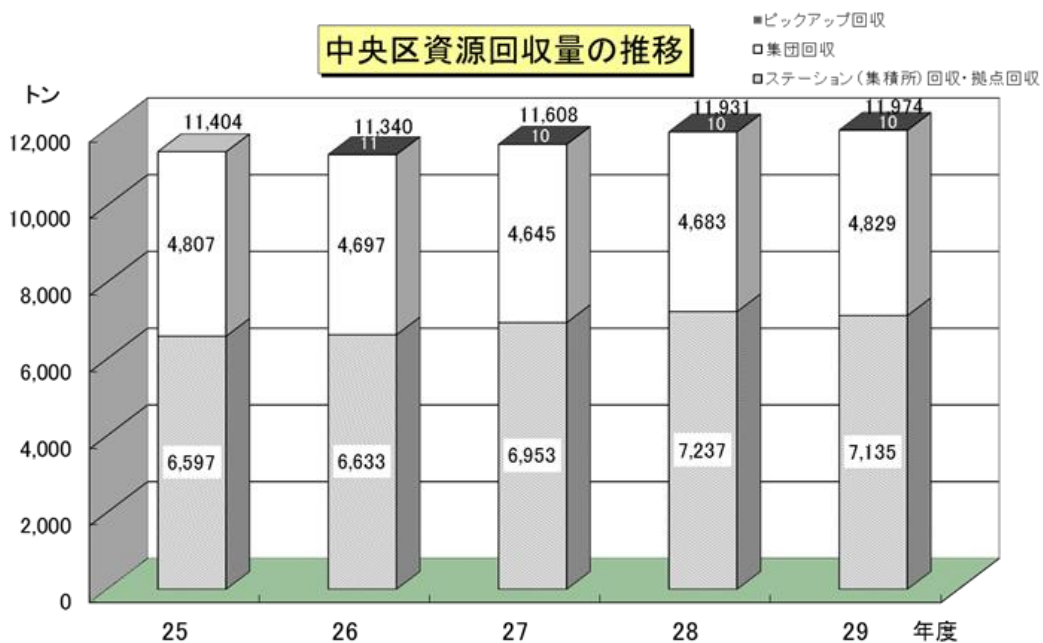
平成29年度における中央区の資源回収量（ステーション(集積所)回収・拠点回収、ピックアップ回収、集団回収）は、約11,974トンであった。資源回収量は、平成28年度と比較して、量で約43トン、率にして0.4%の増加である。ステーション(集積所)回収・拠点回収は1.4%減少し、集団回収は3.1%増加した。

また、行政による回収の品目別回収量は、紙類、びんの順であった。

種 別	回 収 量 (t)		前 年 度 比	
	平成29年度	平成28年度	(t)	(%)
ステーション(集積所)回収・拠点回収	7,135	7,237	△102	△1.4
ステーション(集積所)回収	7,054	7,157	△103	△1.4
拠 点 回 収	82	80	2	2.5
ピックアップ回収	10	10	0	0.0
集 団 回 収	4,829	4,683	146	3.1
合 計	11,974	11,931	43	0.4

《行政による回収の品目別回収量》

種 別	回 収 量 (t)		前 年 度 比	
	平成29年度	平成28年度	(t)	(%)
紙 類	3,099	3,244	△145	△4.5
布 類	55	54	1	1.9
缶	347	394	△47	△11.9
び ん	2,427	2,359	68	2.9
プラスチック類・その他	1,208	1,186	22	1.9
粗大ごみ(ピックアップ)	10	10	0	0.0
不燃ごみ(ピックアップ)	—	—	—	—
計	7,146	7,248	△102	△1.4



注：行政による回収品目の「プラスチック類・その他」には、電池等の品目が含まれる。

また、表とグラフの数値について、端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合がある。

資源回収量品目別合計量

《資源回収量品目別合計量》

(単位：t)

年度	紙類	びん	缶	金属製のなべ・やかん・フライパン	トレイ	廃食用油	布類	乾電池	蛍光管	ペットボトル	プラスチック製容器包装	水銀使用製品	小型家電	粗大系小型家電	合計
25	7,647	1,892	533	13	2	2	62	9	1	723	519	—	—	—	11,404
26	7,593	1,911	508	12	1	2	64	10	1	722	506	—	0.5	11	11,340
27	7,748	2,053	505	11	1	2	70	9	1	697	499	—	0.8	10	11,608
28	7,694	2,387	501	9	1	2	84	10	1	734	498	0.03	0.6	10	11,931
29	7,659	2,452	469	8	1	2	80	10	1	782	497	0.02	1.9	10	11,974

注：端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合がある。

(1) 分別回収

平成29年度の分別回収量は、7,054トンであった。これは、平成28年度と比較して、量で103トン、率にして約1.4%の減少である。

《分別回収量品目別合計量》

(単位：t)

25	3,004	1,850	434	7	610	519	6,424
26	3,059	1,865	417	7	616	506	6,469
27	3,287	2,009	406	7	667	499	6,873
28	3,234	2,359	394	7	666	498	7,157
29	3,089	2,427	347	7	687	497	7,054

注1：ペットボトルは平成18年4月から分別回収を開始

注2：金属製のなべ・やかん・フライパンは平成20年4月から分別回収を開始

注3：プラスチック製容器包装の分別（モデル）回収は平成20年10月～平成21年3月まで実施、平成21年4月から本格的に分別回収を開始。

注4：端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合がある。

(2) 拠点回収

平成29年度の拠点回収量は、82トンであった。これは、平成28年度と比較して、量は2トン、率にして約2.5%の増加である。

《拠点回収量品目別合計量》

(単位：t)

年度	飲料用紙パック	トレイ	廃食用油	布類	乾電池	蛍光管	水銀使用製品	小型家電	ペットボトル	合計
25	12	2	2	51	9	1	—	—	96	173
26	11	1	2	52	10	1	—	0.5	86	164
27	11	1	2	54	9	1	—	0.8	—	80
28	10	1	2	54	10	1	0.03	0.6	—	80
29	10	1	2	55	10	1	0.02	1.9	—	82

注1：平成20年4月から蛍光管の拠点回収を開始

注2：平成20年4月～平成21年3月まで、プラスチック製容器包装の拠点（小学校）回収を実施

注3：平成26年4月から小型家電の拠点回収を開始

注4：平成27年3月まででペットボトルの拠点回収を廃止

注5：平成28年4月から水銀使用製品の拠点回収を開始

端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合がある。

(3) 集団回収

平成29年度の集団回収量は、4,829トンであった。これは、平成28年度と比較して、量で146トン、率にして約3.1%の増加である。

《集団回収量品目別合計量》

(単位：t)

年度	紙類	びん	金属類	布類	その他(ペットボトル)	合計	登録団体数
25	4,630	43	106	11	18	4,807	222
26	4,523	46	96	12	20	4,697	229
27	4,450	45	104	16	30	4,645	252
28	4,449	28	109	30	68	4,683	289
29	4,561	25	123	26	94	4,829	301

注：端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合がある。

(4) ピックアップ回収

平成29年度のピックアップ回収量は、10トンであった。これは、平成28年度と量は同じである。

《ピックアップ回収量品目別合計量》(単位：t)

年度	粗大系小型家電
27	10
28	10
29	10

回収品目：電子レンジ・炊飯器・DVDプレーヤー

3 23区ごみ量

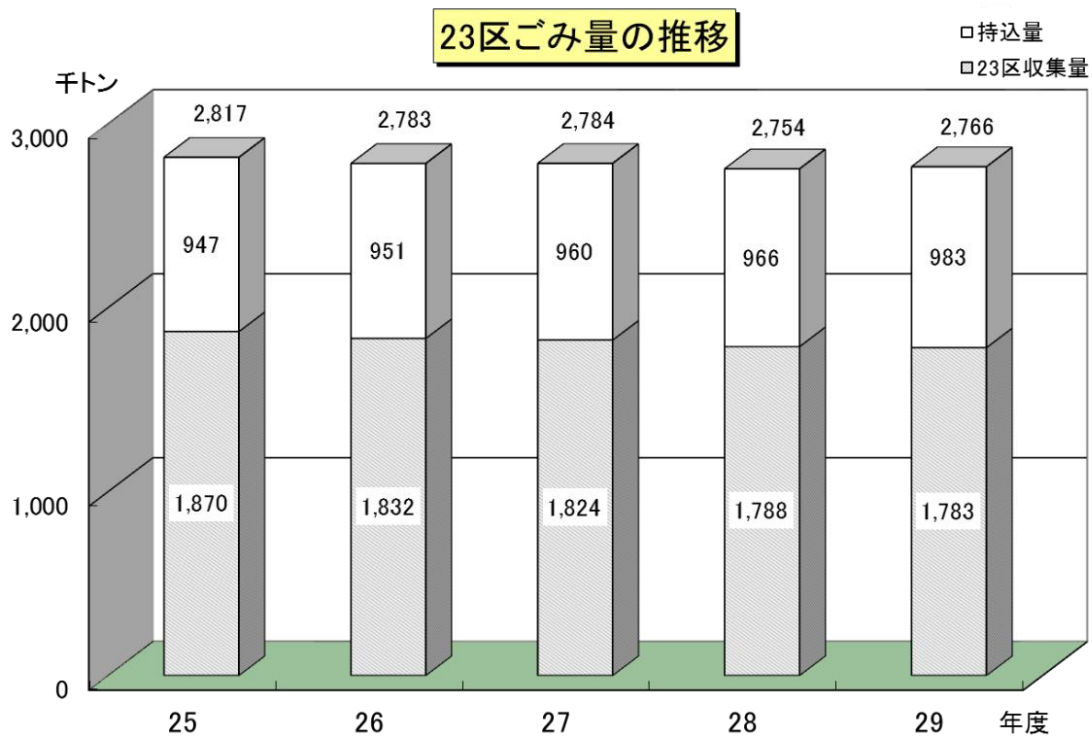
平成29年度における23区のごみ量は、区収集及び持込ごみ量を合わせて、2,765,568.07トンであった。これは平成28年度と比較して、量で11,274.87トン、率にして0.4%の増加である。

内訳を見ると、区収集ごみ量は、1,782,644.23トンで、前年度と比較して量で約5,564トン、率にして0.3%の減少である。

このうち、可燃ごみは量で約1,237トン、率にして0.1%減少した。不燃ごみは量で約5,102トン、率にして9.8%減少した。粗大ごみは量で約775トン、率にして1.3%増加した。

また、持込ごみ量は982,923.84トンで、前年度と比較して量で約16,839トン、率にして1.7%増加した。

種 別	収 集 量 (t)		前 年 度 比	
	平成29年度	平成28年度	(t)	(%)
区 収 集	1,782,644.23	1,788,207.90	△5,563.67	△0.3
可 燃	1,677,253.44	1,678,490.32	△1,236.88	△0.1
不 燃	46,714.75	51,816.87	△5,102.12	△9.8
粗 大	58,676.04	57,900.71	775.33	1.3
持 込	982,923.84	966,085.30	16,838.54	1.7
計	2,765,568.07	2,754,293.20	11,274.87	0.4



注：表とグラフの数値について、端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合がある。

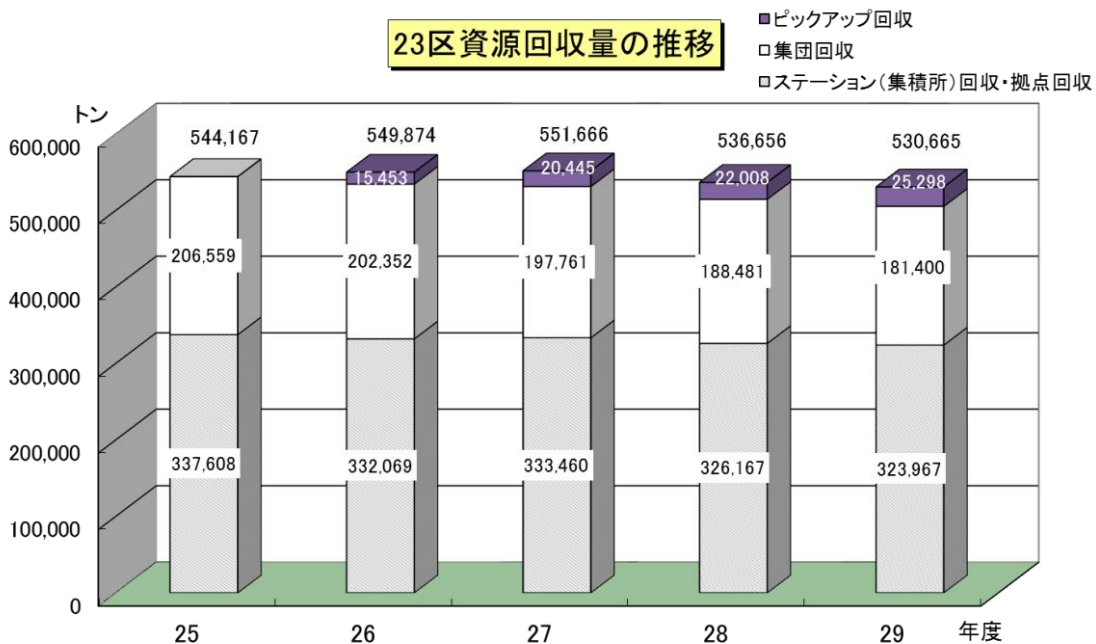
4 23区資源回収量

平成29年度における23区の資源回収量（ステーション(集積所)回収・拠点回収、ピックアップ回収、集団回収）は、約530,665トンであった。資源回収量は、平成28年度と比較して、量で約5,991トン、率にして1.1%の減少である。

種 別	回 収 量 (t)		前 年 度 比	
	平成29年度	平成28年度	(t)	(%)
ステーション(集積所)回収・拠点回収	323,967	326,167	△2,200	△0.7
ピックアップ回収	25,298	22,008	3,290	14.9
集 団 回 収	181,400	188,481	△7,081	△3.8
合 計	530,665	536,656	△5,991	△1.1

《行政による回収の品目別回収量》

種 別	回 収 量 (t)		前 年 度 比	
	平成29年度	平成28年度	(t)	(%)
紙 類	151,702	153,705	△2,003	△1.3
布 類	2,362	2,320	42	1.8
缶	23,533	23,805	△272	△1.1
び ん	83,371	84,002	△631	△0.8
プラスチック類・その他	62,999	62,335	664	1.1
粗大ごみ(ピックアップ)	11,288	11,025	263	2.4
不燃ごみ(ピックアップ)	14,010	10,984	3,026	27.5
計	349,265	348,175	1,089	0.3



注：ステーション(集積所)回収・拠点回収については、回収形態が各区で異なるため、合算している。
行政による回収品目の「プラスチック類・その他」には、電池等の品目が含まれる。
また、表とグラフの数値について、端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合がある。